

計画事業	目標	事業評価			評価
		令和元年度	令和2年度	R2実施内容	
	アウトプット	アウトプット	アウトプット		
アウトカム	アウトカム	アウトカム			
<b>①特定健康診査</b>					
特定健康診査	受診率60%	受診率44.3%	受診率41.4%	R2年度は受診者を対象としたインセンティブ事業を実施。 健診実施期間を6/22～12/11に延長。 国保連の在宅保健師派遣事業を活用し、経年未受診者への電話勧奨を実施。 コロナ禍による受診控えの中、前年度より受診率は低下し、目標値にも届いていない。	C
	メタボ該当者予備群の減少率25%	21.4%	16.3%		
特定健康診査受診勧奨（はがき送付）	勧奨数100%	R1.8 勧奨数100% (8,511通)	R2.10 勧奨数100% (7,968通)	①年度中40歳、②直近5年間の受診歴なし、③直近5年間で受診歴ありの3つに未受診者をセグメント化し、通知内容をそれぞれ変更した圧着はがきを作成し、送付した。 「感染症対策を行ったうえで健診を実施している」という一文を追加した。 各グループとも受診率は低下した。	C
	送付後の受診率の伸び	送付後受診率の伸び 22.0% 受診者（発送数） ①年度40歳 14.2% 16人（113通） ②5年受診歴なし5.4% 275人（5,131通） ③5年受診歴あり48.3% 1,579人（3,267通）	送付後受診率の伸び 14.6% 受診者数（発送数） ①年度40歳 10.8% 10人（93通） ②5年受診歴なし 5.3% 263人（5,007人） ③5年受診歴あり 31.0% 888人（2,868通）		

データヘルス計画実施事業 令和2年度分評価（令和3年12月時点）

計画事業	目標	事業評価			
		令和元年度	令和2年度	R2実施内容	評価
		アウトプット	アウトプット		
		アウトカム	アウトカム		
広報	広報実施件数10回	10回	10回	広報実施件数は目標数を達成。 「健康づくりにおける連携及び協力に関する協定」に基づき、企業にチラシ配布及び店頭でのポスター掲示を依頼した。	B
	受診率の伸び	前年度比+0.7%	前年度比-2.9%		
人間ドック等補助	受診者数 600人	421人	306人	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言をうけて、個別で行う人間ドックが実施できない期間があった。	C
	受診者数の増加	前年度比+14人	前年度比-115人		

データヘルス計画実施事業 令和2年度分評価（令和3年12月時点）

計画事業	目標	事業評価			
		令和元年度	令和2年度	R2実施内容	評価
	アウトプット	アウトプット	アウトプット		
	アウトカム	アウトカム	アウトカム		
<b>②特定保健指導</b>					
特定保健指導	実施率60%	14.9%	17.9%	378人に通知（積極的58人、動機付け320人）、参加102人（積極的11人、動機付け91人）。 実施率は向上しているが、目標値とは乖離している。 利用者の次年度の健診結果は半数近くが改善している。	C
	利用者の改善率伸び	+1.9% (改善率50.0%)	-4.2% (改善率45.8%) ※R3.12時点		
特定保健指導利用勧奨☑	勧奨数100%	100% (通知数300通)	100% (通知数104通)	再案内の通知とは別に、電話による利用勧奨を行った。平日昼間だけでなく、夜間休日にも電話勧奨を行ったことで、電話がつながり、利用率向上に結びついた。	B
	利用者数の増加	15人 積極的0人 動機付け15人	24人 積極的5人 動機付け19人		
<b>③重症化予防指導</b>					
重症化予防事業 (保健指導)	実施者数40人	19人	10人	令和元年度と比較し、利用者数は低下した。 新型コロナウイルス感染症にともない、面談回数低減を行い、リスク軽減を図って保健指導を実施するスケジュールとした。（腎症2期：面談1回、電話3回 腎症3・4期：面談2回、電話2回）	C
	検査数値の改善	81.8% (HbA1c、BMI、 血圧)	100% (HbA1c、BMI、 血圧) ※R3.12時点		

データヘルス計画実施事業 令和2年度分評価（令和3年12月時点）

計画事業	目標	事業評価			
		令和元年度	令和2年度	R2実施内容	評価
	アウトプット	アウトプット	アウトプット		
	アウトカム	アウトカム	アウトカム		
<b>④健診異常値未受診者への受診勧奨</b>					
糖尿病未受診者への受診勧奨	勧奨数100%	100% (実施者数43人)	100% (実施者数37人)	電話による受診勧奨を、電話番号の分かる36人に実施。「受診検討」及び「受診了承」と回答した17人の受診が確認できなかった。	B
	勧奨後受診者数	5人 (10.2%)	5人 (13.5%)		
高血圧症及び脂質異常症の未受診者への受診勧奨	勧奨件数200件	(脂質異常症) 受診勧奨件数92件	(高血圧症) 受診勧奨件数37件	令和2年度から、健診受診から医療機関受診までの期間を短くするために、対象者の抽出を1か月ごとに行い、通知を行った。 緊急事態宣言を受け、医療機関への受診勧奨を自粛したため、通知件数は令和元年度と比較し減少した。令和元年度は通知者の内、行動変容をした人の割合が7.6%だったのに対し、令和2年度は24.3%が行動変容する結果となった。	B
	勧奨後受診者数	7人	9人		
<b>⑤治療中断者への受診勧奨（糖尿病）</b>					
糖尿病治療中断者への受診勧奨	勧奨数100%	勧奨数100% (実施者数6人)	勧奨数100% (実施者数2人)	電話番号が分かる人には更なる電話勧奨を行ったが、一定数以上の荷電の結果、電話がつながらなかった。北本市だけでなく、参加市町村全体で40.1%の人が電話のつながらない状態となっているため、勧奨が難しい。	C
	勧奨後受診再開者数	0人	0人		

データヘルス計画実施事業 令和2年度分評価（令和3年12月時点）

計画事業	目標	事業評価			
		令和元年度	令和2年度	R2実施内容	評価
	アウトプット	アウトプット	アウトプット		
	アウトカム	アウトカム	アウトカム		
<b>⑥多受診者指導</b>					
多受診者指導	指導実施率10%	68通 (多受診適正化)	60通 (重複服薬該当者)	国保連から提供された重複服薬該当者60人に、服薬に関する通知の発送を行った。 通知者の9割が通知送付後3か月間のレセプトデータから重複服薬非該当となった。	C
	重複・頻回受診者減少数	受診適正化人数55人 (80.9%)	重複非該当人数56人 (93.3%)		
<b>⑦ジェネリック医薬品切り替え通知</b>					
ジェネリック医薬品 切り替え通知	通知回数2回	通知回数2回	通知回数2回	月ごとにはジェネリック医薬品数量シェアが80%を超える月も増加傾向にある。目標の達成が予想されることから、今後も同様に周知を行っていく。	B
	ジェネリック医薬品数量シェア80%	シェア78.2%	シェア80.4%		

A	計画を上回って実施
B	概ね計画どおり
C	計画より遅れている
D	未着手